

令和7年3月 報道機関との定例懇談会 要旨

1 日 時 令和7年3月6日(木)13:00~13:30

2 会 場 市長応接室

3 参加者 報道機関7社、市側

4 懇談の概要

(1) 情報提供項目

地域見守り協力企業との協定締結式や女性活躍推進講座、嵯峨歌連ピアノリサイタルなど、市長から5件お知らせした。

(2) 記者との質疑応答

地域見守り協力企業との協定締結式について

記 者 「地域見守り協力企業」の取り組みはすでに行われており、今回は新たに事業所が加わるということでしょうか。

市 長 そのとおりである。平成25年に開始し、これまでに市内70の事業所と協定を締結している。今回新たに、「第一石油株式会社、東北労働金庫久慈支店、コダガラス、谷地商店、介護老人保健施設リハビリタウンくじ」の5事業所の皆さまと協定を締結する。締結式は、3月7日(金)13:30から市長応接室で行う。

看護師養成奨学資金奨学生面接

記 者 面接を受けた学生は何名か。また、この事業の実施開始年度と、学校を卒業後に市内で従事している人数についてもお聞きしたい。

副市長 本日、面接を受けた方はお一人。進学する看護学校の地域に制限はなく、県立大学の看護学部なども対象となる。看護師資格取得を目指して勉強する方を対象に面接を実施し、合格された方に奨学金を提供している。この制度では、久慈市内の医療機関での従事は義務付けられていないが、市内の医療機関に一定年数勤務すると奨学金の返還が免除される。

市 平成27年度に制度を開始し、これまでに8名が奨学金を利用し、そのうち7名が市内の医療機関で従事されている。

週休3日制(第2期)試行の実施状況及び本格実施

記 者 第1期と第2期の試行を経て、今議会に提案され、市議会で可決されれば来年度からの導入となるということだが、試行状況を踏まえ、本格導入の条例案提出に至った経緯について、どのような背景や判断があったのかお聞きしたい。

また、久慈市で把握されている範囲で構わないが、本格実施となった場合、県内の市町村において過去に同様の実施事例はあるのか、併せてお聞きしたい。

市 アンケート結果を見た際に最も懸念されたのは、市民サービスへの影響があったかどうか、そして業務に支障がなかったかどうかという点である。アンケートでは、市民サービスへの影響についての回答として、例えば「職員が全員揃わずミーティング

ができなかった」「市民からの問い合わせ時に担当職員が休みで対応できなかった」といった事例が報告された。ただし、こうしたケースは多くはなく、通常の年次休暇でも同様の状況は発生し得るため、所属長が業務の進行に支障が出ないように調整することを前提に、本格実施の判断に至った。特定の曜日に休暇が偏らないよう調整を行うことで、適切に運用できると判断している。

なお、職員アンケートでは、「利用したくてもできない」という声や「そもそも利用したいと思わない」という意見もあった。利用できない理由としては、小さな子どもの送迎など家族の都合、また少人数の部署で一人休むと業務に影響が出るといった点があげられた。しかし、子どもが成長すれば利用できるようになる場合や、部署異動によって取得しやすくなる可能性もある。市としては制度を整備し、職員が利用できる状況になったときに活用できるようにすることが重要であると考えている。県内の市町村での実施事例はないものと捉えている。

市長 コロナ禍を経て、リモートワークの導入が進み、民間企業では柔軟な働き方が広く取り込まれるようになった。当市においても共働き世帯が増えており、働き方の柔軟性を高めることが必要だと考えている。

この制度は強制ではなく、生活面や仕事面でメリットを感じる職員が活用できる仕組みとなっている。ただし、制度を導入する以上、市民サービスの低下は決してあってはならない。そのため、各職場で調整を図りながら、働きやすい環境づくりを進めることが重要。他の自治体でも同様の取り組みが今後進んでいくと考えられるが、当市は率先して制度を施行し、その結果も問題ないと判断した。全国的に広がる可能性もあると考えている。

少子化の影響で市役所職員の採用が厳しくなっている現状もあり、柔軟な働き方を取り入れることは、今後の人材確保の観点からも重要である。当市が率先してこうした取り組みを進めていることを、広くお伝えしていきたい。

記者 3日制度を導入することによって、人件費の増減に影響が出る要素は考えられるか。
市 週休3日制の導入によって、例えば超過勤務手当などにすぐに影響を与えることはないと考えている。週休3日制度を実施していることを聞いて興味を持ち、採用試験を受験されたという事例もあり、そのようなところでまずは影響があるかなと思っています。

嵯峨歌連ピアノリサイタル

記者 地本凱旋公演の第2弾、第3弾の予定はあるのかお聞きしたい。

市 現時点では具体的には決まっていないが、久慈市出身の音楽家による公演を今後も実施したいと考えている。

以上

報道機関との定例懇談会 提供資料

日時：令和7年3月6日(木) 13:00～

場所：市長応接室

番号	資料名等	担当課	備考
1	主要行事予定	各課共通	
2	地域見守り協力企業との協定締結式	社会福祉課	
3	女性活躍推進講座	地域づくり振興課	
4	嗟峨歌連ピアノリサイタル	文化課	
5	佐渡裕&スーパーキッズオーケストラ	文化課	
6	週休3日制（第2期）試行の実施状況及び本格実施について	総務課	

「久慈市地域見守り協力事業」募集要項

1 趣 旨

高齢者、子ども、障がい者などが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域全体で見守り活動を行うことが必要です。

この事業は、市内で業務を行う企業の従業員が業務の範囲内で市民宅を訪れた際に、何らかの異変を察知した場合の連絡体制を確立することにより、地域の見守り体制を充実させることを目的としています。

2 参加可能な企業

市内で業務を行う企業・事業所等（事務所の有無は問わない）

3 見守りの対象者

久慈市に住んでいる全ての市民（特に高齢者・子ども・障がい者のいる世帯）

4 募集期間 令和7年2月14日（金）まで

5 参加方法

- 1) 協力いただける事業所から申出書を提出していただきます。
- 2) 申出書を提出した事業所と見守りに関する協定を締結します。
- 3) 協定締結後、事業所と情報交換を図りながら見守り活動を推進します。

6 連携の流れ

- 1) 訪問先で異変を感じた場合に備え、あらかじめ連携体制を確立します。
- 2) 業務中、異変を感じた場合には、市へ連絡をいただきます。
- 3) 市は関係部署や地域支援者から情報収集し、対象者の安否確認を行います。
- 4) 情報提供いただいた事業所へ対応状況等を報告し、見守り活動の促進につなげます。

※具体的な連携体制については裏面を参照

7 連携における留意点

- 1) 訪問先で、緊急を要する事態（人倒れている等）が発生した場合には、すみやかに警察署や消防署へ連絡をしてください。
- 2) 見守り活動は通常の業務の範囲内で行ってください。無理に押しかけたり、業務の範囲外で個人情報を聞きだしたりすることはできません。
- 3) 見守られる方の中には、積極的な交流を望まない方もいらっしゃいます。「見張り」「監視」にならないよう、ゆるやかに見守っていくことが大切です。
- 4) 協定の締結により知りえた個人情報は、他の人に話したり、広めたりしないでください。インターネット上に掲載することもしないでください。

見守り活動の連携体制（協定締結事業所⇄市）

日常の業務内で異変を見つけた場合（協定締結事業所の職員）

住民の日常生活に異変が感じられる場合

- 郵便受けに新聞や郵便物がたまっている場合
- 玄関に施錠もなく、呼び出しても応答がない場合
- 頻繁に罵声や、物を投げる音がし、虐待を受けているおそれがある場合
- その他、異変等が発生していると推測できる場合

緊急性が高い場合

【協定締結事業所】

救急 119 への通報
警察 110 への通報

電話による連絡

対応後の情報共有

久慈市役所生活福祉部社会福祉課 社会長寿係

【電話 0194-52-2119】

【休日（日直）0194-52-2111】

民生児童委員
地域支援者

市役所各部署

介護事業者
社会福祉協議会

連携して対応・対応後の情報共有

対応

異変が認められた地域住民

久慈市男女共同参画推進事業 「女性活躍推進講座」

自分への挑戦

世界大会が教えてくれた
真の美しさ

令和7年

3/9
(日)

13:30 ~ 15:30

久慈市中央市民センター 大集会室

久慈市で活躍する女性、
活躍する方を応援する
気持ちを育みます。

参加費 無料

定員 現地 50名 (先着順)

申込 裏面の申込書を FAX またはメールか、
下記の Google フォームからお申込みください。
空きがあれば当日参加も可能です。
お気軽に下記担当までお問合せください。
※申込期限 3/7(金) 正午まで



講師 Mrs of the Year2024
世界大会 日本代表
高柳 純子 さん

株式会社街のほけん屋さん 代表取締役

久慈市のご出身で、Mrs of the Year2023 岩手大会にて、初出場ながら準グランプリとしてファイナリストへ選出され、つづく日本大会でも特別賞を獲得し、2024年の世界大会への切符を掴んで、出場を果たされました。

Mrs&Mr of the Year とは

47 都道府県で開催されており、性別や年齢に関係なく、内外面の美しさを競うことを通して、挑戦し続ける方を応援するコンテストです。

この活躍を通じて、「ジェンダーレスの平等」、「平和や公正」、「パートナーシップで目標を達成する」などのSDGsにも関連しつつ、地方創生(人口減少の克服や地域活性化)に取り組んでいるものです。

事前申込用

Google フォーム



性別や環境によらず、誰もが尊重されるまちをめざして

久慈市総合政策部地域づくり振興課 男女共同参画推進事業担当

TEL 0194-52-2116 FAX 0194-52-3653

Mail k-turn@city.kuji.iwate.jp



個人情報の取り扱いについて

本講座に係る個人情報は、男女共同参画推進事業に限って使用し、法令に基づき適正な管理を行います。

講座の写真についても、今後の事業に活用させていただきます。顔が写りこまないよう撮影いたします。

久慈市主催 女性活躍推進講座 事前申込書

令和 年 月 日

- 久慈市主催「女性活躍推進講座」
○自分への挑戦 ～世界大会が教えてくれた真の美しさ～
- 令和7年3月9日(日) 13時30分～15時30分(開場 13時00分)
- 久慈市中央市民センター(久慈市新中の橋 5-28-4) 大集会室
- 講師 Mrs of the Year 世界大会 日本代表 高柳 純子 さん
- 対象 どなたでも聴講できます
- 定員 現地 50名(先着順)
- 申込 ・本書を下記の宛先へ FAX またはメール(PDF)にてご提出ください。
・表面のQRコード(Google フォーム)からも申込が可能です。
- 申込期限 令和7年3月7日(金) 正午まで

宛先 久慈市 総合政策部 地域づくり振興課
担当 及川、宇部 行
TEL 0194-52-2116
FAX 0194-52-3653
Mail k-turn@city.kuji.iwate.jp

参加者名	
参加人数	名
緊急連絡用 電話番号	-
緊急連絡用 メールアドレス	(k-turn@city.kuji.iwate.jp からのメールが届くよう、設定をお願いします。)
講座を知った きっかけ	市 HP ・ 勤め先 ・ SNS(X、Facebook、LINE) ・ 市からの案内文書 ・ 市民センターの設置資料 ・ 広報くじ ・ 口コミ(知人からの紹介) その他()
備考	

嵯峨 歌連

ピアノリサイタル

2025

3/23 Sun

14:00開演(13:30開場)
アンバーホール 小ホール

【料金・全席指定】

一般：2,000円（友の会1,500円）
高校生以下：無料

【プレイガイド】

アンバーホール（TEL：0194-52-2700）

【発売開始】

友の会 12月1日（日）9:00～
一般 12月14日（土）9:00～

— プログラム —

ショパン：3つのノクターン Op.9-1,2

ショパン：幻想即興曲 Op.66 ほか



地元凱旋公演シリーズ Vol.1 「嵯峨歌連ピアノリサイタル」

久慈市出身のピアニスト・嵯峨歌連さんをお招きし、待望の凱旋公演を開催いたします。東京音楽大学で研鑽を積み、確かな技術と豊かな感性を磨いてきた歌連さんの演奏は、クラシック音楽の新たな魅力を私たちに届けてくれることでしょう。

本公演は、久慈市出身の音楽家による凱旋公演シリーズの記念すべき第1弾。地元の若手音楽家たちにとって大きな励みとなるこの演奏会が、久慈市の音楽文化のさらなる発展への確かな一歩となることを願っています。美しい音色が紡ぎ出す感動のひとときを、どうぞお聴き逃しなく。



PROFILE

岩手県久慈市出身。4歳よりピアノを始める。東京音楽大学器楽専攻ピアノ演奏家コースを卒業後、同大学院修士課程を修了。現在、東京音楽大学非常勤ピアノ演奏研究員。

2007年「若い芽のピアノコンチェルト」に出演しポーランド国立クラクフ室内管弦楽団と共演。第30回JPTAピアノ・オーディション全国優秀者演奏会出演、第32回全国優秀者演奏会出演・特別公開レッスン生に選抜され、ジュリアード音楽院教授マッティ・ラエカッリオ氏のレッスンを受講する。

第16回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 高校生部門アジア大会銅賞、第18回高校生部門アジア大会銀賞、第21回コンチェルトC部門アジア大会金賞・コンチェルト賞受賞。アジア大会受賞者によるガラコンサートにてプリマ・ヴィスタ弦楽四重奏団と共演。第29回彩の国・埼玉ピアノコンクール金賞。

2018年ショパン音楽大学、2019年リスト音楽院にて演奏会に出演。2020年「東京音楽大学ピアノ演奏会～ピアノ演奏家コース成績優秀者による～」に選抜。2021年「東京音楽大学表参道サロンコンサートVol.53」に出演。

これまでピアノを成田満枝、大星美子、菊地麗子、吉田友昭の各氏に、ソルフェージュを片山美也氏に師事。



2019年
リスト音楽院演奏会
(ハンガリー)



2020年 プリマ・ヴィスタ
弦楽四重奏団共演
(東京)



2021年 東京音楽大学
表参道サロンコンサート
(東京)



2022年 東京音楽大学
校友会岩手県支部コンサート
(盛岡市)

SUNTORY

東北サンさんプロジェクト

since 2011



* Yutaka Sadoe SKR

* Yutaka Sadoe SKR
プロジェクト
in 東北東日本大震災
復興祈念
コンサートさんりく音楽祭2025春×
こころのビタミンプロジェクト in 久慈

さ ど ゆたか
佐渡裕 [指揮] &
スーパーキッズ・
オーケストラ



指揮 / 佐渡裕

令和7年 3月30日(日)

会場: 久慈市文化会館 大ホール
(アンバーホール)

開演 15:00 開場 14:30

プログラム

モーツァルト: ディヴェルティメント ニ長調 K.136より
モンティ: チャールダーシュ
グリーグ: 組曲「ホルベアの時代から」より入場無料
要整理券: 全席指定

©飯島隆

整理券
配布

配布開始日時

2月24日(月) 9:00~

2月25日(火) 9:00~

配布場所

久慈市文化会館(アンバーホール)
洋野町民文化会館(セシリアホール)野田村総合センター(教育委員会内)
普代村役場(教育委員会内)

お問い合わせ 久慈市文化会館 TEL 0194-52-2700

主催: 岩手県/兵庫県立芸術文化センター/久慈市教育委員会 協力: 洋野町教育委員会/野田村教育委員会/普代村教育委員会
後援: 岩手日報社、岩手朝日テレビ 制作: 岩手県文化振興事業団
プロジェクト・パートナー: サントリーホールディングス(サントリー東北サンさんプロジェクト)/ピアス
プロジェクト・サポーター: 早駒運輸 神戸シーバス/JTB

働き方改革に向けた「週休3日制」（第2期）の試行状況及び本格実施について

1 アンケートについて

令和6年9月1日から全課を対象として試行している「週休3日制」について、職員アンケート調査を実施した。

- (1) 実施期間 令和6年12月11日（水）～12月23日（金）
- (2) 対象 全職員（会計年度任用職員含む）
- (3) 回答 GoogleFormによりアンケートを実施し、無記名での調査を行った。127名から回答を得た。

・部等ごとの回答数

総務部 22、総合政策部 10、生活福祉部 38、産業経済部 10、企業立地港湾部 5、建設部 6、山形総合支所 5、上下水道部 8、教育委員会 15、農委・監査・議会事務局 3、未回答 5

（うち正職員 98、会計年度任用職員 29）

・職ごとの回答数

部長級 3、課長級 14、係長級 33、主事級 48、会計年度任用職員（事務職） 27、会計年度任用職員（事務職以外） 2

2 アンケート結果（主な回答） ※（ ）内は（正職員、会計年度）

- (1) 週休3日制を利用したか

利用した	正職員 31、会計年度任用職員 7
利用しない	正職員 67、会計年度任用職員 22

- (2) 利用した理由

「制度に興味があるから」	(55.9%、30.8%)
「休みが増えるから」	(47.1%、38.5%) など

- (3) 休みの利用方法

「家事や金融機関などの手続き」	(38.3%、40.0%) など
-----------------	------------------

(4) 利用しない理由

正職員：「利用したいと思わない」（17.9%、11.4%） など
会計年度任用職員：
「早く帰らなければならない」（13.7%、25.7%）
「勤務時間以外は家事をやらなければならない」（8.5%、22.9%） など

(5) 勤務時間パターンについて（自由記載）

「3週間以上への拡大希望」「朝15分単位での設定希望」「遅出出勤の検討希望」「フレックスタイム制の希望」などの意見があった。（正職員、会計年度任用職員共通）

(6) 試行前と比較しての働き方の変化について

週の平均労働時間について（80.0%、82.8%）
仕事の負担感について（75.3%、76.9%）
業務効率や生産性、進捗について（60.9%、84.6%）
それぞれ「変わらない」が最多。

(7) 市民サービスへの影響、工夫した点（自由記載）

「平日休んでいる分、対応が遅れるなどの影響が予想される」「手薄になることもあると感じた」「人が減る分、窓口対応及び電話対応が増した」などの影響があったとの回答があった。

(8) 職員の健康状態や仕事とプライベートの調和等について

「健康状態やストレス度合いへの好影響」（63.0%、78.6%）
「仕事とプライベートの調和」（60.2%、80.0%）
「職場の雰囲気への影響」（67.0%、82.1%）
「モチベーションや意欲に与えた影響」（76.7%、76.9%）
それぞれ「変わらない」が最多。

(9) 試行に関しての良い点について

「週休日を自分の時間に使える」（30.2%、33.3%）
「休みが増える」（27.7%、29.2%） など

(10) 改善すべき点について

「職員がそろわないので相談、ミーティングができない」
「余計に仕事がたまるのではないか不安」などの意見が多い。
少数意見…
「延長した勤務時間分しっかり働いているか確認しようがない」など勤務時間の管理をしやすくするよう求める意見があった。

(11) その他意見について

第1期を踏まえ、勤務時間の柔軟化を図った。意見では、さらなる柔軟化を求める声として、「フレックスタイム制導入」についての意見があった。そのほか、朝の勤務開始時間を30分単位ではなく、15分単位としてほしい、遅出出勤を認めてほしいなどの意見があった。そのほか、週休3日制に限らず、振替の柔軟化を求める声が多く寄せられたところである。

3 制度利用実績

月	第1期				第2期						
	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用課	10	10	9	7	13	14	16	14	10	—	—
利用人数 (延べ人数)	72	83	45	22	42	52	51	40	36	—	—
利用人数 (実数)	38	44	26	15	25	24	30	25	21	—	—

令和7年1月末で、延べ443人が利用した。

4 今後のスケジュール

2月 職員組合へのアンケート結果説明

市議会への事務事業説明会

市議会 関係条例改正案提案

3月 市議会最終日

4月 本格実施